Employment welfare offices
就労系
福祉事業所紹介

合同会社Re.born(リ・ボーン)

▲代表 宮木康勝さん
社名には「どんなことがあっても、人は生まれ変わることができる」という想いを込めています。

地域資源を活用した幅広い事業を展開

2015年に開所した『リ・ボーン』は、就労継続支援A型・B型事業所を運営する多機能型事業所。地域に根ざした幅広い事業を展開しているのが特徴で、利用者はオリジナルブランド「鉄輪本舗」の商品の製造・販売、隣接するレストラン「地熱観光ラボ縁間」での接客・調理、温泉管理、農作業、工芸品づくりなど多様な業務に挑戦することができます。「うちの業務は鉄輪温泉の地熱や温泉水を活用しているのが特徴です。地域資源を有効利用することで、利用者はもちろん、関わる人全員、地域全体を元気にできればと考えています。また、幅広い業務を請け負うことで高水準の賃金を保つこともできます」そう話すのは代表の宮木さん。〝利用者が手がけたことを誇れるような商品〟をテーマに商品開発にも注力しており、「鉄輪本舗」の看板商品・地熱ビネガーをはじめ、地熱ドライフルーツ、温泉南高梅干しなど多くのヒット商品を生み出しています。他にも、鉄輪織りと温泉染めを融合した新ブランド「湯あ美」を立ち上げるなど、地域と連携しながら福祉事業所の枠を超えた様々な取り組みを行っています。

▲(左)地熱ビネガーは桃薫いちご、かぼす、梅と紫蘇の3種類。(右)レストランで人気の地獄蒸し。

全ての利用者が挑戦・活躍できる場を

『リ・ボーン』の強みは、誰もが挑戦・活躍できる場(障がい特性や目標、〝今〟の自分にマッチする就労テーマ)を提供できること。利用者は多様な業務を経験する中で、得意なことや好きなこと、やりがいを見つけ、着実にステップアップしています。「私たちは利用者の挑戦したいという気持ちを大切にしています。例えば、別府という土地柄、レストランには外国人観光客が多い。健常者でも接客は大変ですが、そこにあえて挑戦することで成長できます。スタッフ全員、利用者同士を比較しないことも心がけています。〝一般就労を目指す〟、〝自分らしく輝ける場所を見つける〟など利用者ごとに目標が異なりますから、人と比べるのではなく、その人が半年後、1年後どう変われるかが重要なんです」。B型事業所に6年通っている大竹野さん(知的障がい)も業務を通じて大きく成長した一人。調理が好きで、地熱ビネガーや地熱プリンの製造現場で活躍しています。

「障がい特性やその日の状態に合わせた配慮は必要ですが、本当に頑張ってくれます。気持ちを盛り上げるために、一緒に歌ったり、踊ったりすることもあるんですよ(笑)」(リ・ボーンスタッフ 梶原さん)、「周りを明るくしてくれる人。一緒に作業をするのが楽しいです」(利用者 松川さん)。一ともに働く仲間の言葉からも、大竹野さんがしっかりと現場に馴染み、必要とされていることが伝わってきます。利用者に寄り添う姿勢を大切にしている『リ・ボーン』ですが、一般就労を目指す利用者には厳しさも必要だといいます。「一般企業で働くためには協調性、忍耐力、集中力、週に40時間働く気力・体力など多くの能力が必要です。大変な作業だから逃げる、嫌だから休む、は通用しません。作業の際は一般就労を想定し、〝なぜダメなのか〟、〝なぜこうする必要があるのか〟をしっかり理解できるように指導しています」。一般就労への移行後、すぐに離職したり、安易な入・退所を繰り返すことがないよう『リ・ボーン』にいる間に一人ひとりとしっかり向き合い、課題を克服するためのサポートを行っています。

▲「料理が好き。作業は楽しいし、一緒に働くみんなもやさしいです」と大竹野さん。

Corporate data
〒874-0044
別府市大字鉄輪字風呂ノ本228-1
TEL.0977-75-8972

誰もが輝ける社会の実現を目指して

▲今後は施設外就労先のレストランでの就職も考えているそう。

地元の小学生を対象にした地獄蒸し体験や温泉染め体験、近隣店舗・施設の催事での出張販売など、地域住民・企業とも積極的に交流している『リ・ボーン』。今後も地域に根ざした様々な取り組みを考えているといいます。「自宅にいながら鉄輪の味を楽しめるよう、真空パックした地獄蒸し野菜の全国発送を検討中です。小学生の体験受け入れも充実させたいですね。子どもたちは障がいを知るきっかけになり、利用者は子どもたちから刺激を受ける。双方に良い影響がありますから。他にも、新ブランド・湯あ美のアピール、大分県の特産品である椎茸を使った商品開発など、やりたいことがありすぎて伝えきれません(笑)」。宮木さんたち『リ・ボーン』スタッフは障がいの有無に関係なく、誰もが自分らしく輝ける社会の実現を目指し、これからも利用者、地域と共に走り続けます。

合同会社リ・ボーンの取組

就労継続支援A型・B型事業所
障がい特性や本人の希望、目的に合わせて選べる多様な業務
- **鉄輪本舗**地熱や温泉を活用した商品の製造・販売
- **施設外就労**レストランでの調理、接客
- **チャレンジ業務**新ブランド立ち上げ、商品開発など
- **その他** 温泉管理、清掃業務、草刈り、農作業、工芸品づくりなど

＋

地域に根ざした活動
温泉資源の活用、新土産の開発、観光客の誘致
近隣店舗・施設との連携、地元の小学生とのふれあいなど

⇩

障がいの有無に関係なく、誰もが輝ける社会の実現を目指す

入所2年目 大平 剛さん
精神障がい

成長のために いろんなことに挑戦中

元々、工場の一般枠で働いていたのですが、"自分は人と違うのでは"と違和感を感じることが多くて…。思い切って精神科を受診したらチック症と診断されました。以前はイチゴの栽培業務を担当していましたが、今は新たな挑戦としてレストランでの接客、簡単な調理を行っています。気を付けているのは衛生面。食品を扱う仕事なのでこまめに手を消毒したり、指に傷がないかのチェックを行っています。初めての仕事なので失敗することもありますが、周りがサポートしてくれるので不安はありません。相談に乗ってもらったり、食事に行ったり、仲良くしてもらっています。いろんな経験を積んで成長し、また一般就労を目指したいと思っています。そのために、苦手なことであっても挑戦する気持ちを持ち続けたいです。

■担当業務
- ●レストランでの接客、簡単な調理
- ●忙しい部門のヘルプ

就労系福祉事業所とは？

就労系福祉事業所とは、障がいのある方に対して、生産活動の提供や就労に必要な訓練・支援などを行う通所型の福祉施設です。

就労継続支援A型事業所
雇用契約を結んで生産活動の機会の提供を行い、就労に必要な訓練や支援を行います。

就労継続支援B型事業所
雇用契約を結ばず軽作業などの生産活動の機会の提供を行い、就労に必要な訓練や支援を行います。